Japanese Communist Party

2月議会号

県議会NEWS

日本共産党　岡山県議会議員団
岡山市北区内山下2－4－6　岡山県議会内
TEL 086(226)7412　FAX 086(231)2187

2023年4月発行

すます伸子

氏平みほ子

酪農家へ飼料高騰分の補填
補聴器購入の助成

牛を殺すためではなく
活かすための支援を。

岡山県 独自の施策が必要です

2月28日一般質問をおこなう氏平県議

２月定例議会が２月20日から3月17日おこなわれました。2月28日（火）に氏平県議が一般質問に、３月17日(金)には須増県議が討論に立ちました。

Q1 感染症患者の受入れを頑張ってきたのが公立・公的病院。今こそ地域医療構想の見直しを

氏平県議

来年度予算でも、地域医療構想に基づき公立･公的医療機関の病床機能の変更または病床数の削減を実施する予算が計上されています。コロナ禍で感染症病床の9割を担ってきたのが公立･公的病院です。

知事

国からは「中長期的な状況や見直しは変わっていない」「着実に取り組みを進めていく」などが示されており、現時点で見直しは考えていない。

また今議会、岡山県保健医療計画での地域医療構想に基づく2025年の必要病床数推計を、新型コロナ感染症や今後発生し得るパンデミックを踏まえたものにするよう要望する陳情が出されましたが、共産党以外すべての会派の反対により、不採択となりました。

請願・陳情	共産	民県	公明	自民	結果
「地域医療構想」に基づく2025年の必要病床数推計に関することについて	○	×	×	×	×
	○=採択　×=不採択				

Q2 医療機関が発熱外来を存続できるようにするための支援を。また、感染者の検査や受診のための公費支援の継続を

5月8日に新型コロナ感染症の5類移行が決まっているなか、発熱外来の継続ができるかどうかが焦点となっています。発熱外来がなくなれば、一般患者に混じってコロナ感染者が受診することになり、外来受診のリスクが高くなることで受診控えなどが懸念されます。

保健福祉部長

感染防止対策への支援や診療報酬の加算措置の継続などについて、知事会を通じて国に要望している。

（検査や受診について）負担能力に配慮した一定の公費負担をするよう知事会を通じて国に要望している。

Q3 補聴器の保険適用を国に求めてほしい。県としては補聴器購入の助成を

氏平県議

補聴器は高額なため、購入助成の要望は強く、独自で補聴器購入補助制度を作っている自治体が増えています。

保健福祉部長

補聴器の装着の有無と認知機能との関係について研究が進められているが、その評価が定まっていない。国への要望や、県独自の補助は考えていない。

私が前回質問したのが2019年。何年たっても「研究中」と国が結論を出さないが。

氏平県議

保健福祉部長

お困りの方がおられるという事なら、研究が前進することが必要だが、明確なエビデンスが出ていないのが現状。だから、これまでどおりの答弁。

Q4 生産コストと乳価の差額補填や飼料高騰分の全額補填など酪農家への支援を

氏平県議

飼料代や光熱費の高騰に対し、乳価が見合わず酪農が危機的な状況にあるなか、国の対応は乳牛の処分に一頭あたり15万円の助成金を交付、最大4万頭の処分と酷い内容です。県独自の支援を求めました。

農林水産部長

差額補填や乳製品の輸入中止は国が検討すること。飼料の高騰対策については、国と歩調を合せて対応する。

国のやり方、国の制度だということですけれども、県としてできることはないのですか。放っておくのですか、酪農家を。

氏平県議

農林水産部長

国と連動するというのをひとつの考え方としてやってきた。引き続き、色々な手法を検討しながら、対応を検討していく必要があると考える。